

R5年度 モコ押切保育園 園評価

【保護者アンケートより】

保護者の方から、子どもたちのことを考えた前向きなご意見、園の保育への取り組みに対してもご理解いただいている内容が多く、嬉しく思う。

いただいた意見は、職員の保育への意識の再確認につなげたい。

ていねいな保育というのは、日々の信頼関係作りの積み重ねで保護者の方にも伝わっていくことを感じたので、職員一人一人が意識し、個々の育ちを大切にしたい保育を今後も行っていきたい。

成長、発達、保育の取り組みなど、おたよりやドキュメンテーション発信等、送迎時での保護者とのコミュニケーションの中で、伝えることを続けていきたいと思う。保護者の方と一緒に連携し合い、子どもたちの成長していく

【職員評価より】

「子ども主体・見守る・つながる保育」ということを、職員全体で意識を高められたと思う。環境設定や声のかけ方、成長を促すための関わり方を、それぞれの職員が考え実践していた。今後もその意識が薄れないように、職員同士声をかけ合っていきたい。

新人保育者が入社したことで、職員全員が自分の保育の振り返りを今まで以上に意識し、疑問に思ったことを皆で語り合うことができた、という声が多く聞けた。保育内容にねらいや願いを持ち、今日の前にいる子どもたちと向き合いながら、日々の保育の語り合いを続けていきたい。

さまざまな「保育安全管理面」でのニュースが多かったこともあり、子どもの人権についてや、安全面についての見直しなど、園内研修での取り組みにもつながっていたと思う。今後も学びを通して、保育内容の向上を目指したい。

【保護者アンケート・職員評価をもとに総評】

今回の保護者アンケート、職員評価を通し、思いを具体的に発信することの大切さを改めて感じた。

日頃のコミュニケーションの積み重ねが信頼関係につながることや、様々なことに興味関心を持ち、疑問に思うことや、考えることの重要性も感じる。

言葉にして伝え合うことや、相手の思いを知ること、思いやりの気持ちを持つことは、職員同士も保護者とも必要である。そのことが、子ども理解につながり、質の高い保育になっていく。

クラス担任だけでなく、どの職員でも全園児と関わることができるのが小規模の良さであることが、保護者にも伝わるよう、子どもの成長を喜び合い、時には子育ての相談にのるなど、『子どもも大人も安心できる笑顔あふれる保育園』と、なるようにしていきたい。

今まで積み重ねてきたこと、新しい取り組みなど今の現状に満足せず、毎年ステップアップしていける園であり